Agilent 1120 Compact LC システムのインストールガイド

このインストールガイドは、Agilent 1120 Compact LC システムのインストールプロセス、ハードウェア設置とソフトウェアセットアップ、インストールチェック、カフェインチェックアウト、*インストール完了レポート*などを説明します。
この作業の予想時間は約 2 時間です。

重要:段階的にこのガイドに従ってください!!!

必要品: - HPLC クラスの水 0.5 L
- サンプルバイアル

設置準備説明書を読んで、すべての必要な準備が整っているかを確認してください。これは、機器に付属されています。

このガイドは、以下の 7 ステップに分かれています。

ステップ 1.): Agilent 1120 Compact LC 機器の開梱と設置
ステップ 2.): EZChrom Elite Compact ソフトウェアのインストール
ステップ 3.): 機器のコンフィグレーション
ステップ 4.): ラボ診断用ソフトウェアのインストール
ステップ 5.): システムのプライミングと LMD ソフトウェアを用いたインストールチェックの開始
ステップ 6.): ソフトウェアファミリアリゼーショントピックの管理
ステップ 7.): チェックアウトサンプルを分析している間のシステムの確認

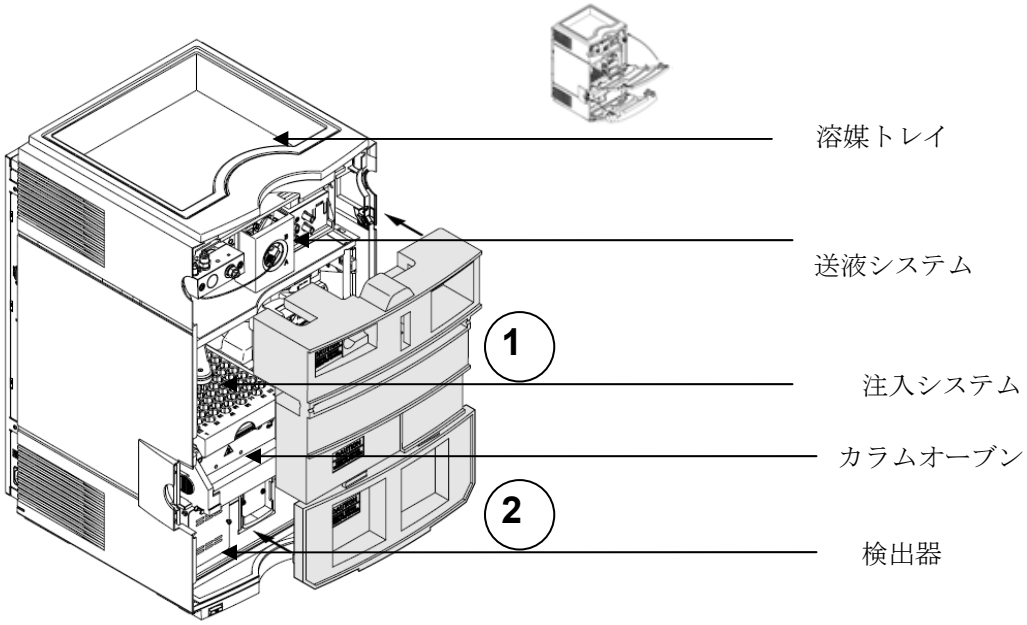
Compact LC のコントロールに使用される PC が既に作業台上にあることを確認します。コントロール PC と Compact LC の最大距離は 3 m です。

ステップ 1.) Agilent 1120 Compact LC 機器の開梱と設置

1. 箱を開け、内容物を梱包明細書と比較します。

2. 作業台上に Compact LC を置きます。

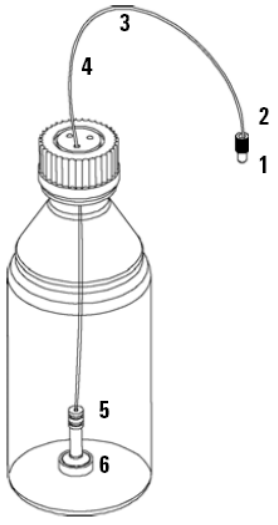
3. 前面カバーの解除ボタンを押して前面カバーを取り外し、2 つの輸送用発泡材を取り外します。



4. HPLC クラスの水 0.5 L が入れられた溶媒ボトルを溶媒トレイに置きます。

5. 溶媒ボトルのボトルヘッドアセンブリ末端に溶媒インレットフィルタを取り付けます (下図を参照)。

Item	Description
	Complete assembly
1	Ferrules with lock ring
2	Tube screw
3	Wire marker
4	Solvent tubing, 5 m
5	Frit adapter (pack of 4)
6	Solvent inlet filter, 20µm

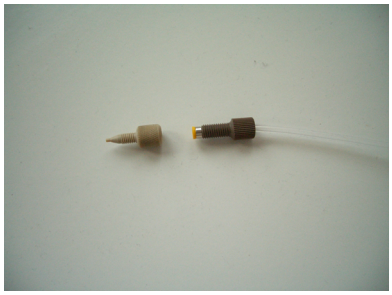


溶媒ボトルとボトルヘッドアセンブリ

6. シリンジ P/N 9301-044 とシリンジアダプタ P/N 9301-1337 (アクセサリキットの一部) を用いて、チューブが水で完全に満たされるまで、チューブをプライミングします。

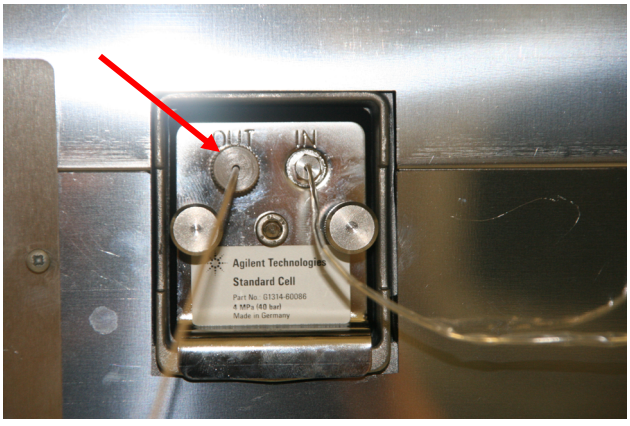
シリンジとシリンジアダプタ

7. a.) アイソクラティックポンプの場合:　パッシブインレットバルブから PEEK アダプタ (0100-1847) を取り外し、ボトルヘッドアセンブリコネクタを PEEK アダプタに接続した後、PEEK アダプタをボトルヘッドアセンブリと一緒にポンプインレットバルブに接続します。


PEEK アダプタとコネクタ

b.) デュアルチャンネルポンプの場合:　ボトルヘッドアセンブリコネクタをデガッサの入口に接続します。

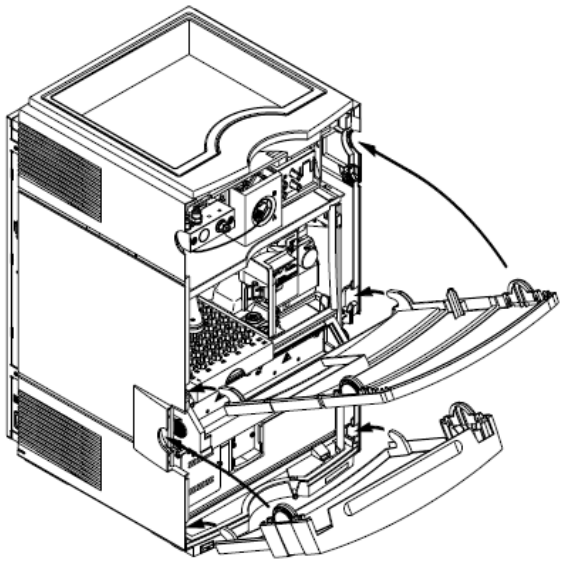
8. フィッティング付き廃液チューブ (アクセサリキットに含まれる) をフローセル出口に、もう一方の端を該当する溶媒廃液容器に接続します。



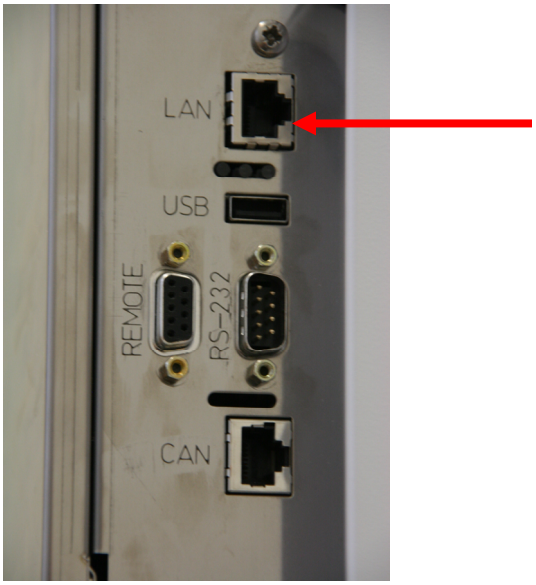
9. 廃液チューブをパージバルブに、もう一方の端を廃液容器に接続します。

10. 波形廃液チューブを該当するコネクタと廃液容器に取り付けます。

11. 前面カバーを閉じます。



12. ネットワーク接続ケーブル (クロスオーバーケーブル) を Agilent 1120 Compact LC の LAN コネクタと PC の該当するネットワークコネクタに接続します。



13. 電源ケーブルを Agilent 1120 Compact LC と電源に接続します。

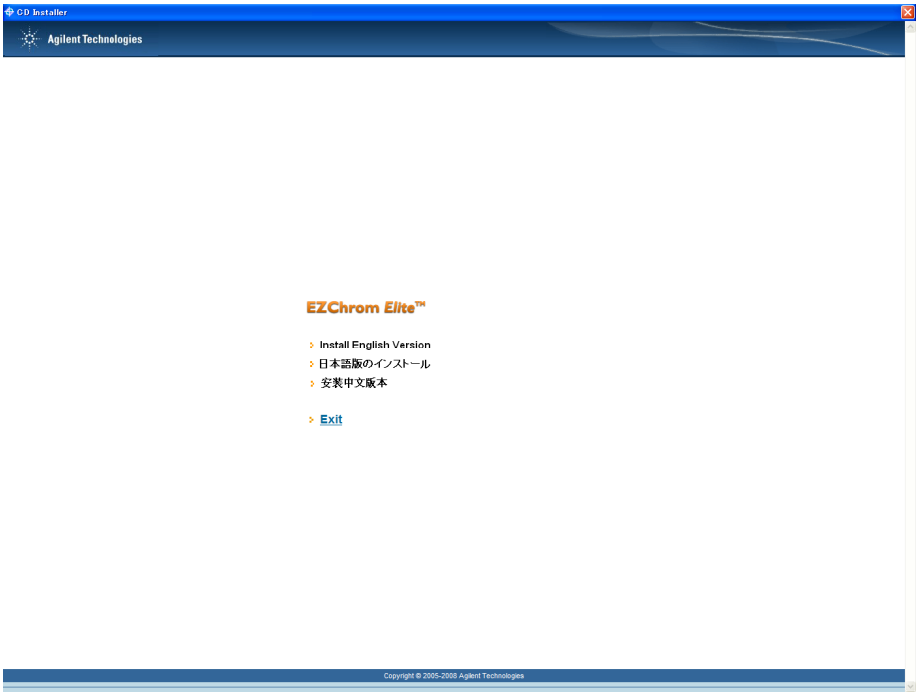
14. 機器の前面左下隅にある Agilent 1120 Compact LC の電源スイッチを入れます。

これでハードウェアの設置は完了しました。

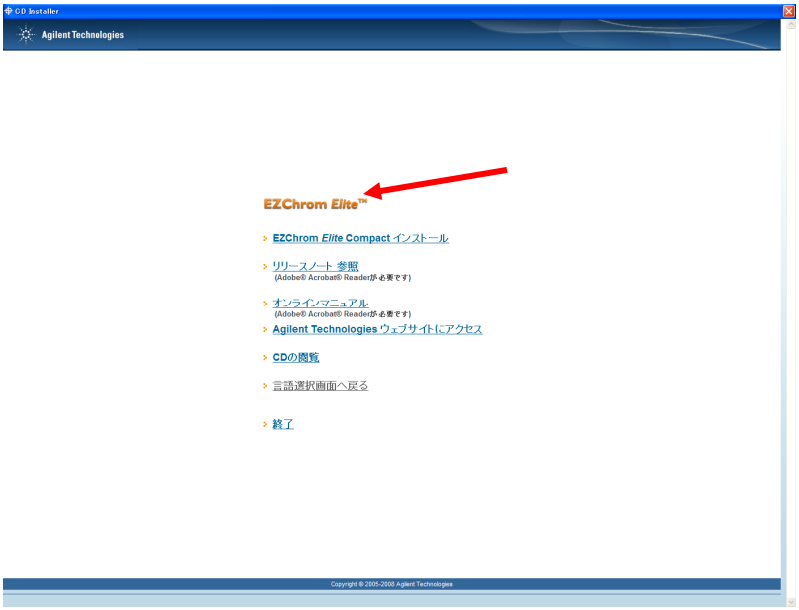
ソフトウェアのインストール:

ステップ 2.) **EZChrom Elite Compact のインストール**

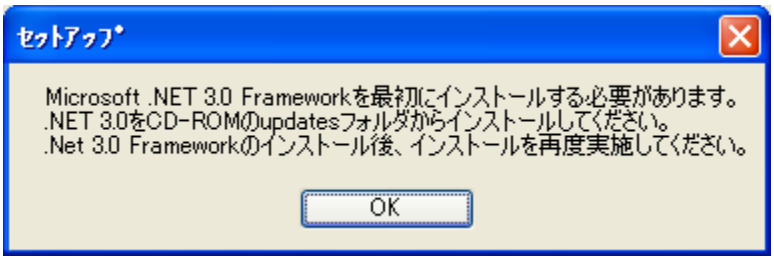
1. コントロール PC の CD/DVD ドライブに、「EZChrom Elite」の CD を挿入します。



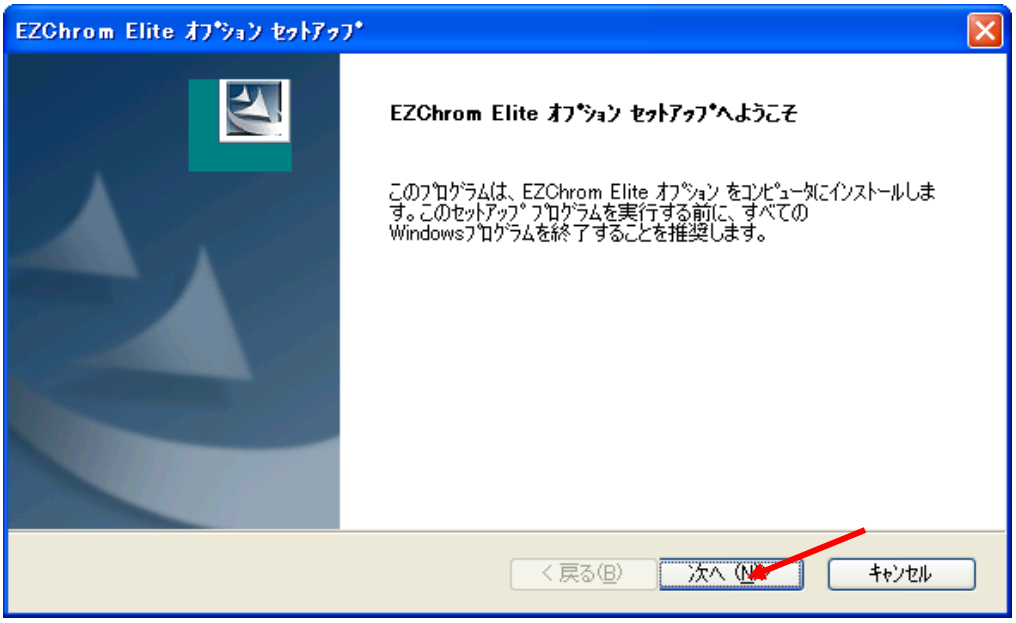
言語を選択します。

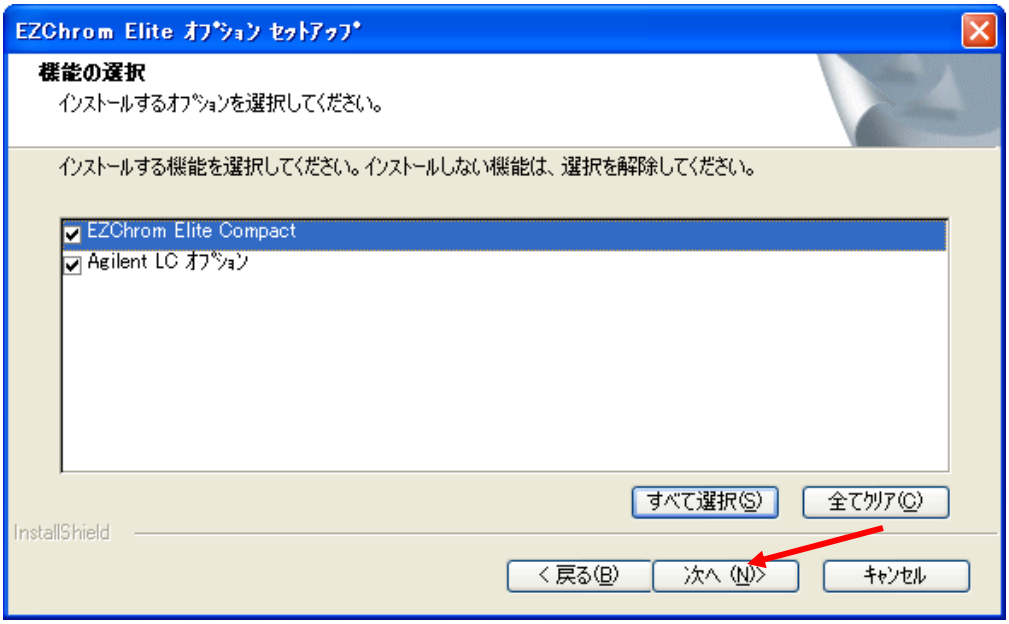


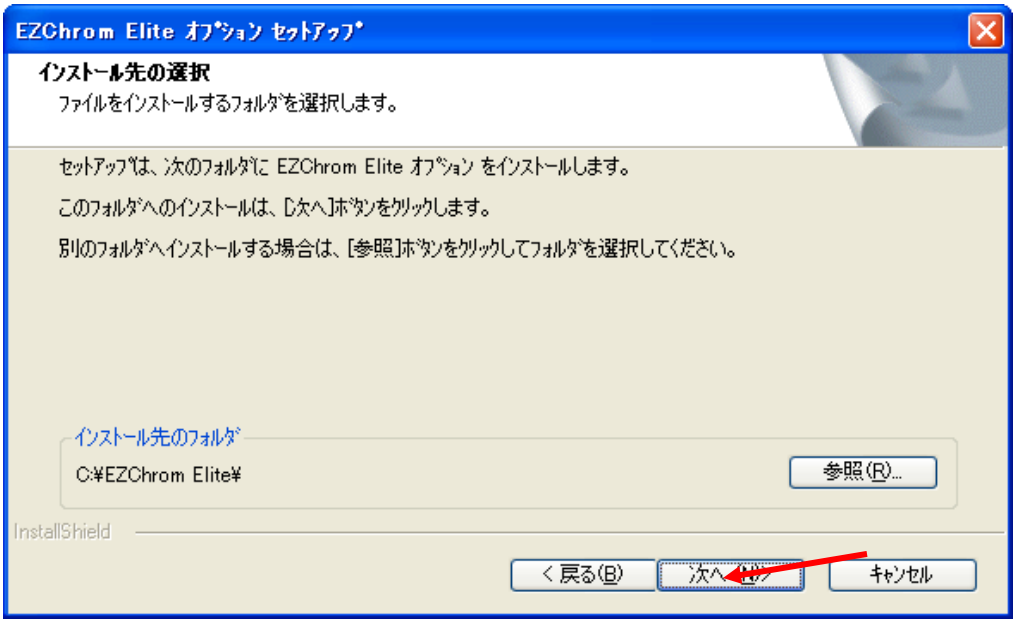
クリックしてインストールします。

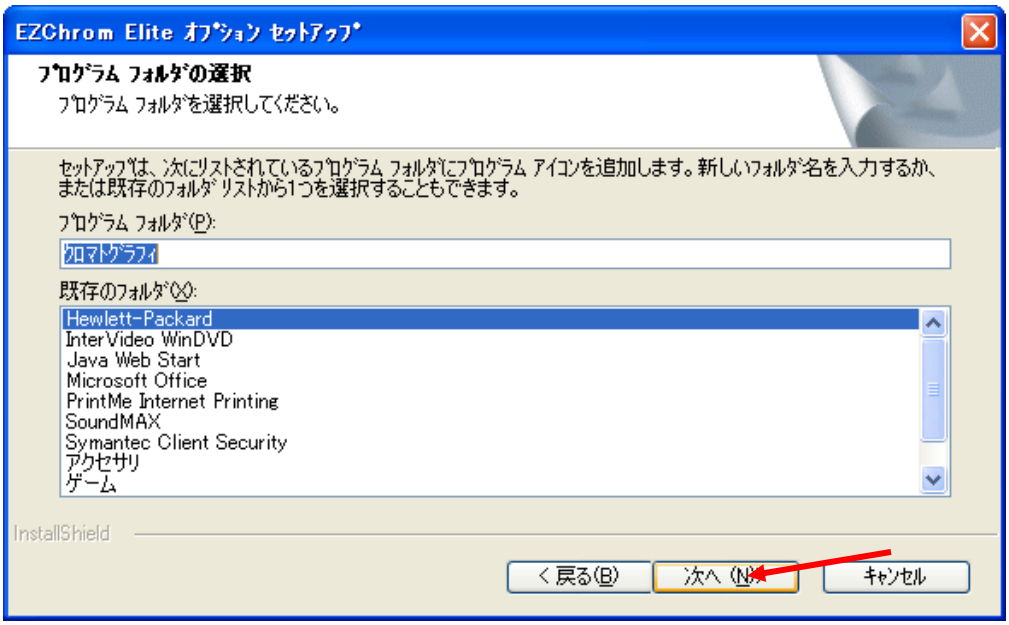


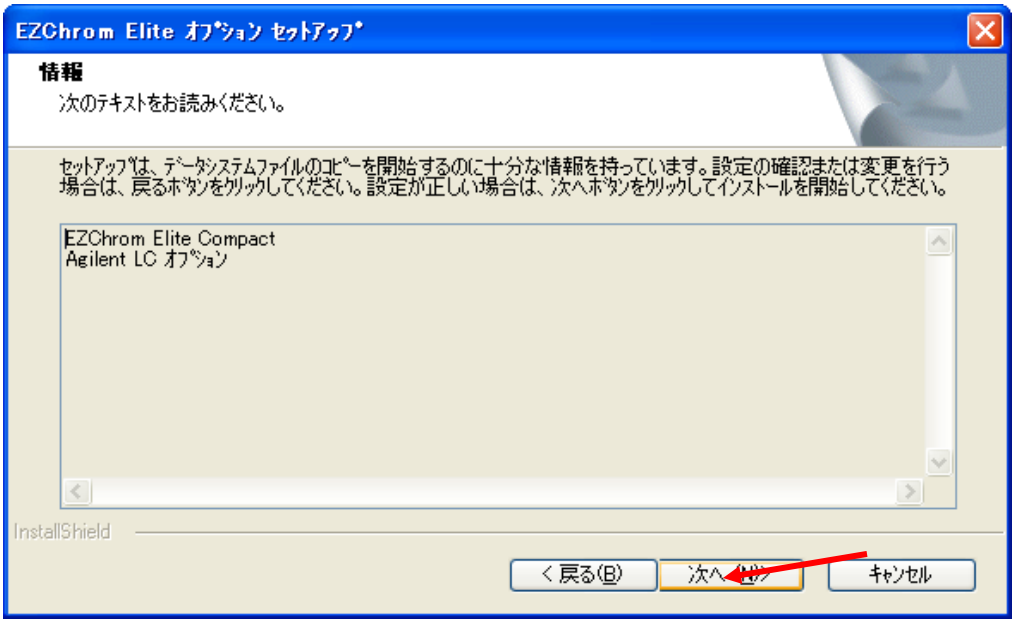
.NET Framework 3.0 がインストールされていないと、このメッセージが表示されます。
EZChrom ソフトウェアを実行するために、このプログラムをインストールする必要があります。
ファイルは CD に収録されています:\Language\Net 3.0\dotnetfx3.exe。
.NET Framework のインストール後、EZChrom インストールを再び開始します。

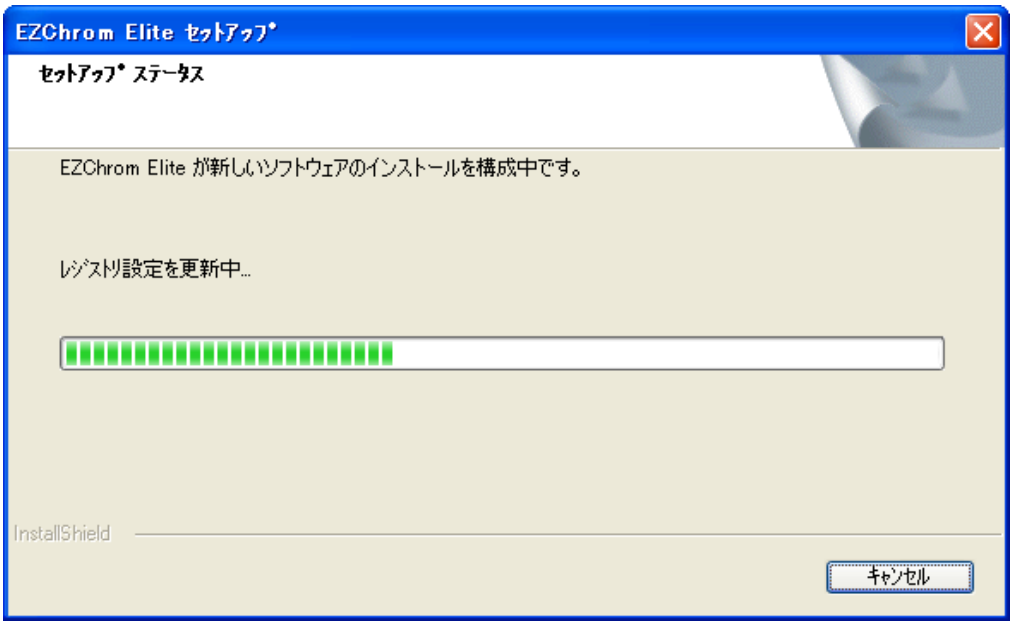

EZChrom Elite オプション セットアップ
EZChrom Elite オプション セットアップへようこそ
このプログラムは、EZChrom Elite オプション をコンピュータにインストールします。このセットアップ プログラムを実行する前に、すべての Windowsプログラムを終了することを推奨します。
< 戻る(B)
次へ (N)
キャンセル

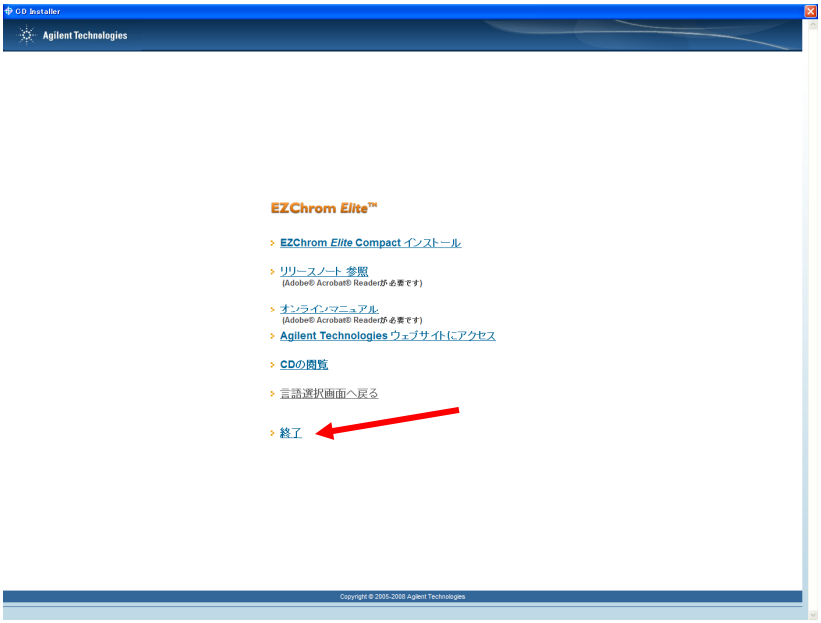

EZChrom Elite オプション セットアップ
機能の選択
インストールするオプションを選択してください。
インストールする機能を選択してください。インストールしない機能は、選択を解除してください。
EZChrom Elite Compact
Agilent LC オプション
すべて選択(S)
全てクリア(C)
InstallShield
< 戻る(B)
次へ (N)>
キャンセル

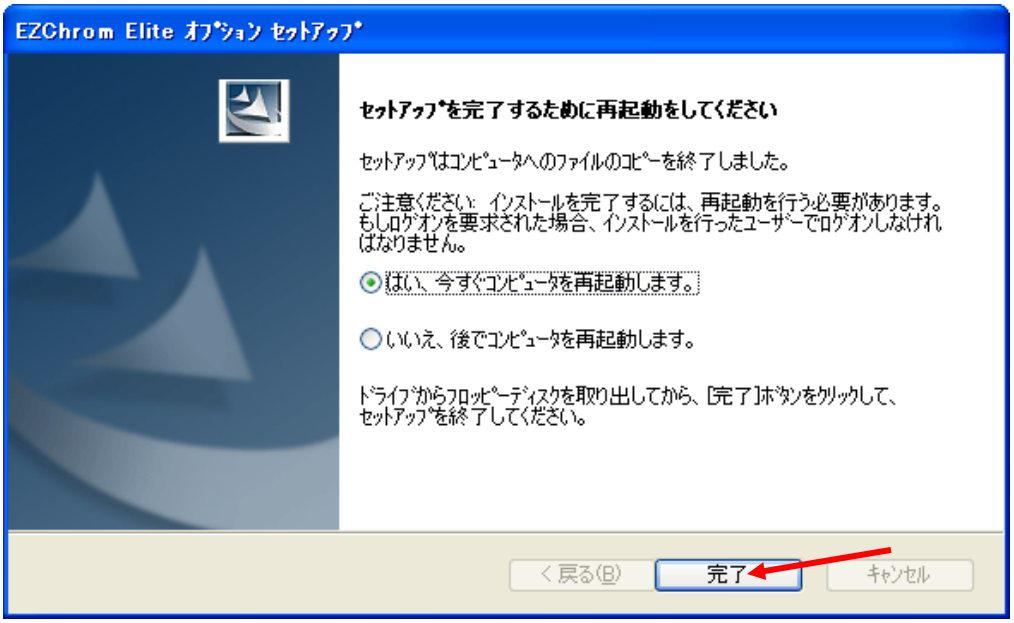

EZChrom Elite オプション セットアップ
インストール先の選択
ファイルをインストールするフォルダを選択します。
セットアップは、次のフォルダに EZChrom Elite オプション をインストールします。
このフォルダへのインストールは、[次へ]ボタンをクリックします。
別のフォルダへインストールする場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルダを選択してください。
インストール先のフォルダ
C:¥EZChrom Elite¥
参照(R)...
InstallShield
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル


EZChrom Elite オプション セットアップ
プログラム フォルダの選択
プログラム フォルダを選択してください。
セットアップは、次にリストされているプログラム フォルダにプログラム アイコンを追加します。新しいフォルダ名を入力するか、または既存のフォルダ リストから1つを選択することもできます。
プログラム フォルダ(P):
クロマトグラフィ
既存のフォルダ(X):
Hewlett-Packard
InterVideo WinDVD
Java Web Start
Microsoft Office
PrintMe Internet Printing
SoundMAX
Symantec Client Security
アクセサリ
ゲーム
InstallShield
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル


EZChrom Elite オプション セットアップ
情報
次のテキストをお読みください。
セットアップは、データシステムファイルのコピーを開始するのに十分な情報を持っています。設定の確認または変更を行う場合は、戻るボタンをクリックしてください。設定が正しい場合は、次へボタンをクリックしてインストールを開始してください。
EZChrom Elite Compact
Agilent LC オプション
InstallShield
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル


EZChrom Elite セットアップ
セットアップ ステータス
EZChrom Elite が新しいソフトウェアのインストールを構成中です。
レジストリ設定を更新中...
InstallShield
キャンセル





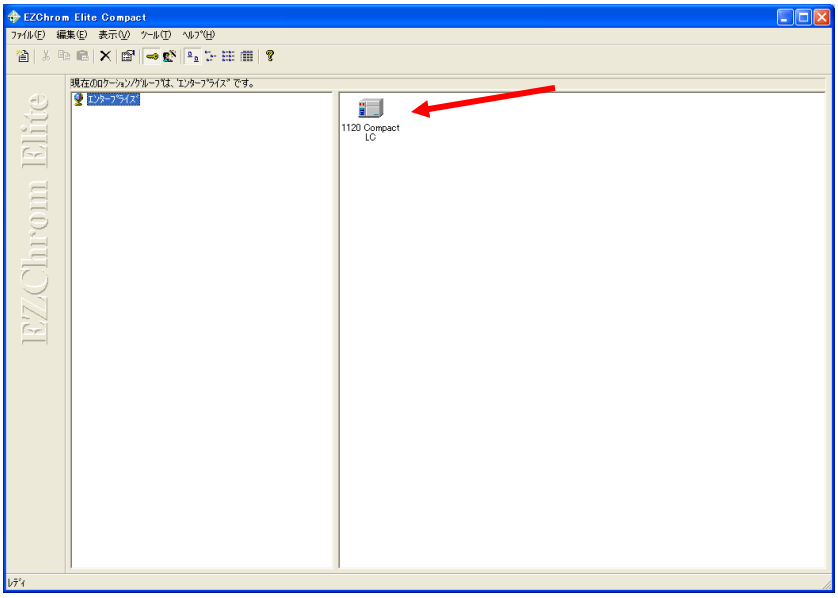
PC を再起動します。

2. **ライセンスドングル (USB スティック) を探し、PC の空 USB ポートに差し込みます。**

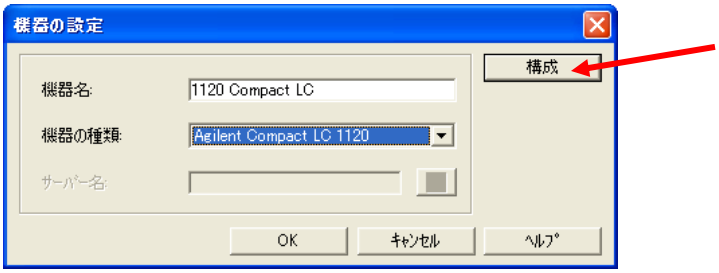
再起動後、Programs\Chromatography\EZChrom Elite にある EZChrom ソフトウェアを開きます。

ステップ 3.) 機器のコンフィグレーション

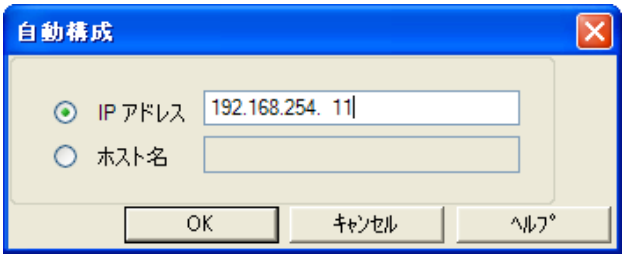
1. デフォルトで、IP 設定は固定 IP、192.168.254.11 に設定されます。
2. PC ネットワーク設定を、IP: 192.168.254.10、サブネットマスク: 255.255.255.0、デフォルトゲートウェイ: N/A に変更します。
3. デフォルトではない、異なる IP アドレスを使用する必要がある場合、G4280-90010 の『ユーザーマニュアル』の章「Agilent 1120 Compact LC/LAN コンフィグレーション」と EZChrom Compact CD の Manual フォルダに収録されている『EZChrom Elite Compact インストールガイド』pdf の説明に従ってください。



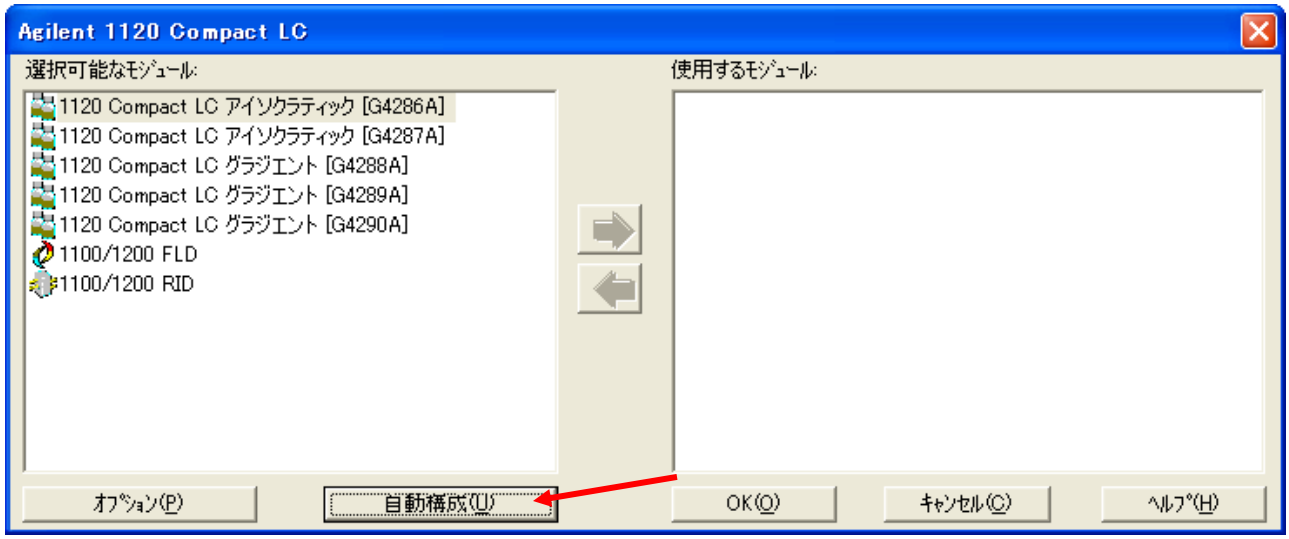
記号を右クリックして、[設定] を選択します。



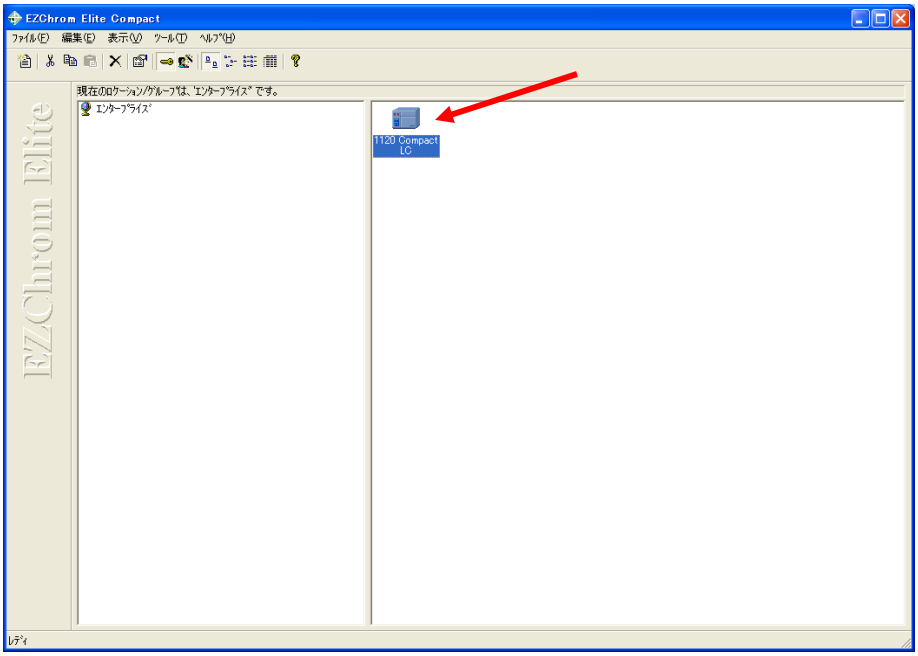
機器名と機器のタイプの「Agilent Compact LC 1120」を選択します。



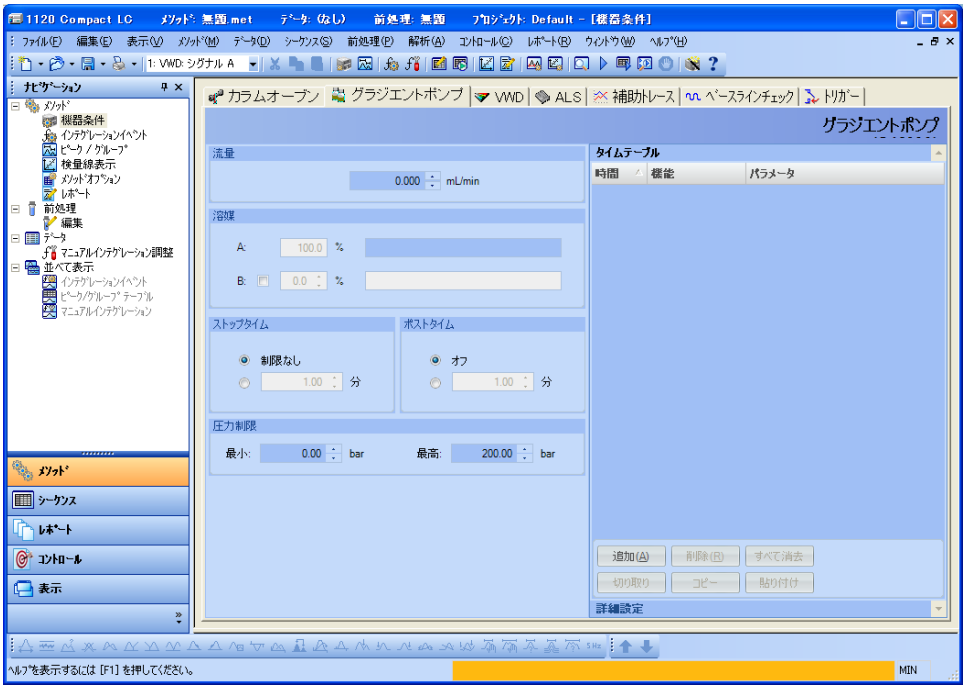
次に設定します。
IP をクリックして、192.168.254.11 (デフォルト IP アドレス) を入力します。



[自動設定] をクリックします。
機器を探し、[OK] をクリックします。



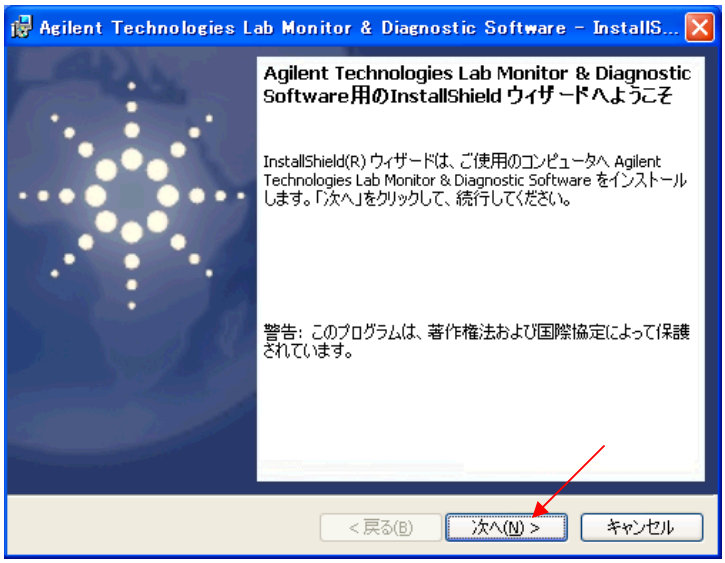
ここで、アイコンをクリックします。



これで、機器とオンラインになります。

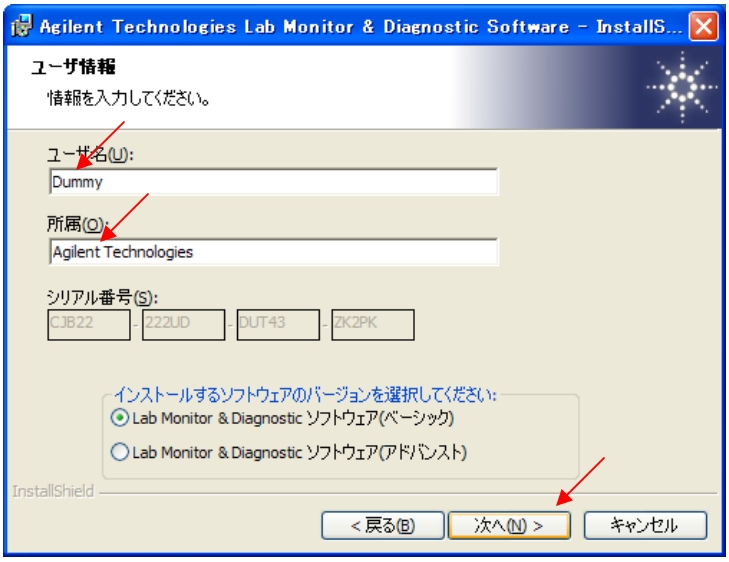
ステップ 4.) ラボ診断用ソフトウェアのインストール

1. コントロール PC の DVD ROM ドライブに、ラボ診断用ソフトウェアの DVD を挿入します。

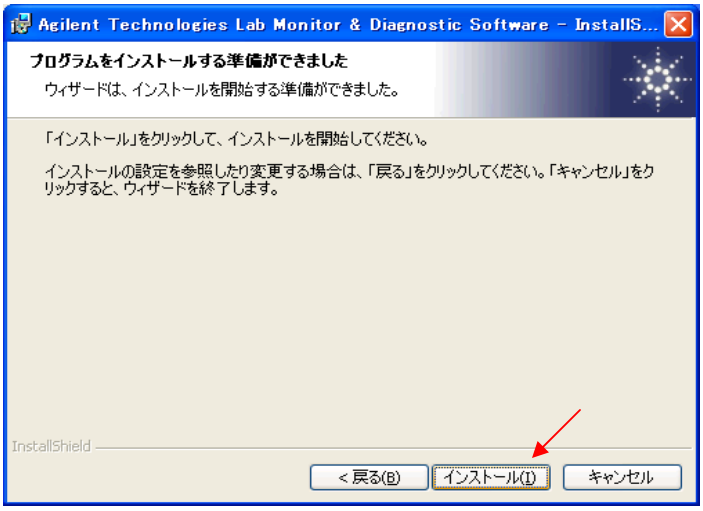


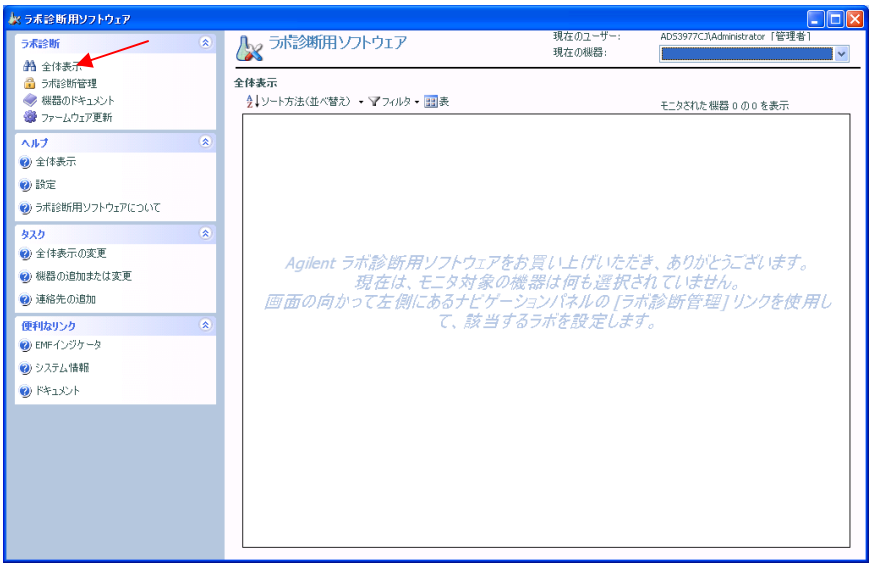
初期画面で [次へ] をクリックします。

ライセンス契約を読んだ後、承認します。



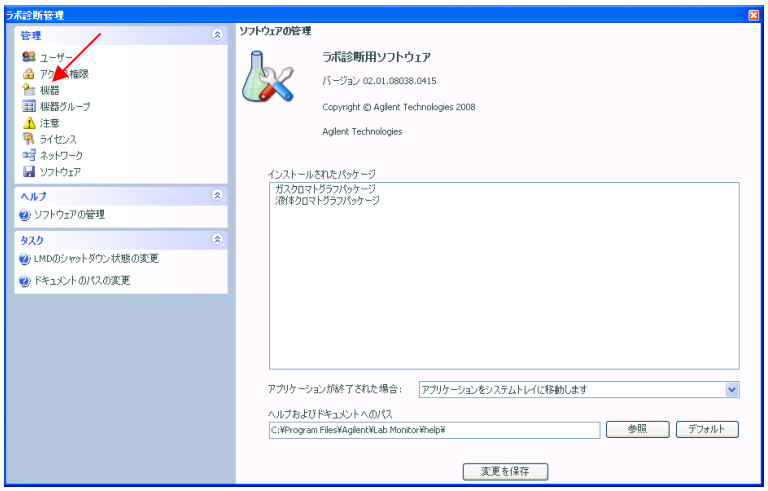
ユーザー名と組織を入力します。



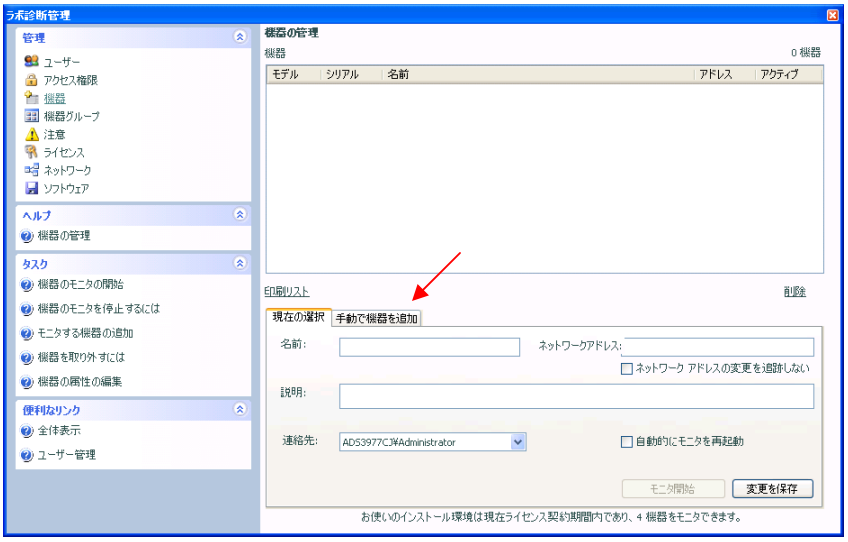


[機器コンフィグレーション] をクリックします。

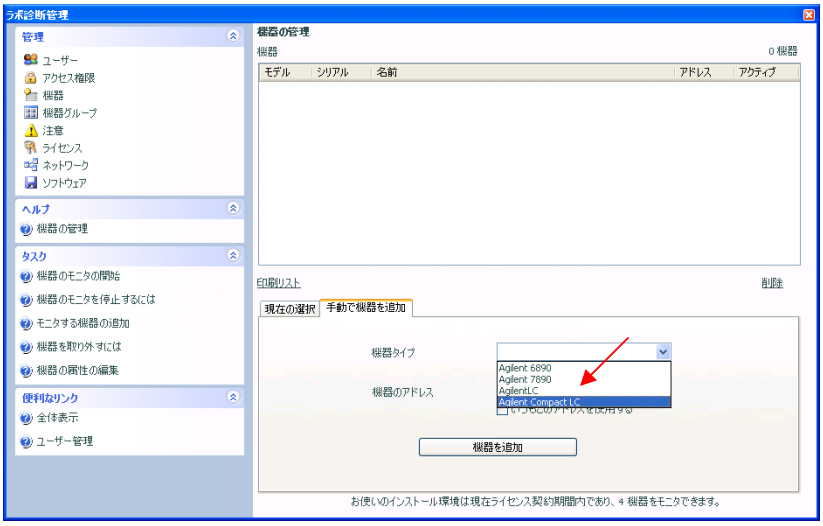
新しいウィンドウが開きます。



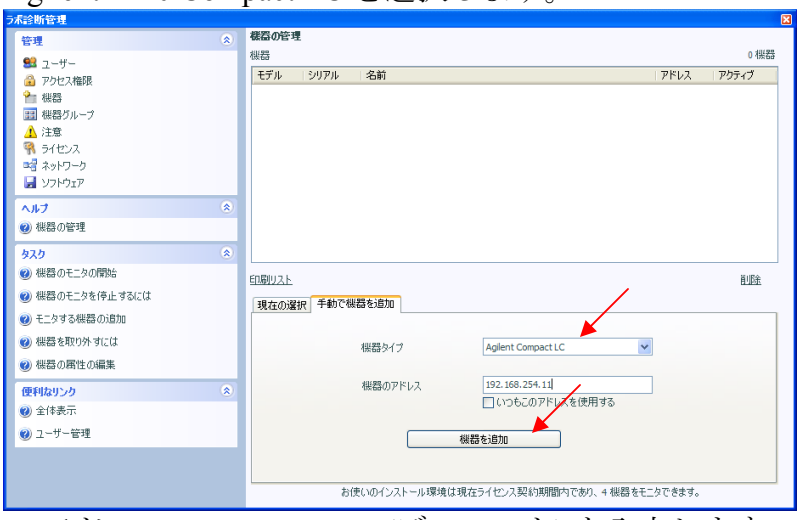
[機器] をクリックして、ご使用の Compact LC を追加します。



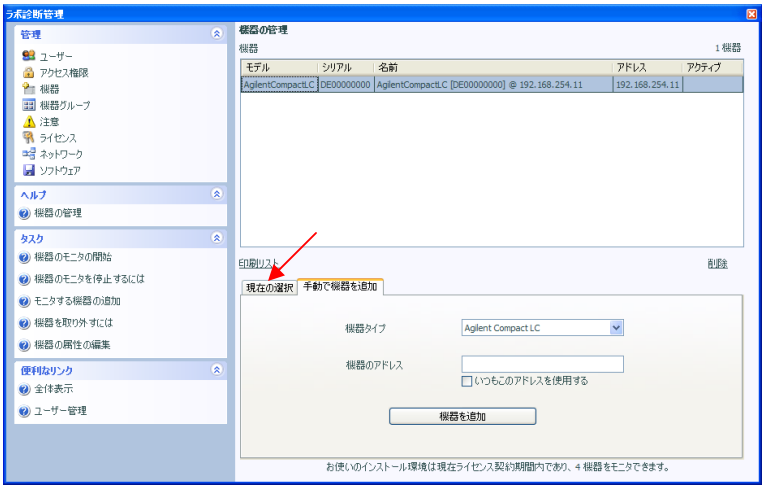
[機器の手動追加] タブに変更します。



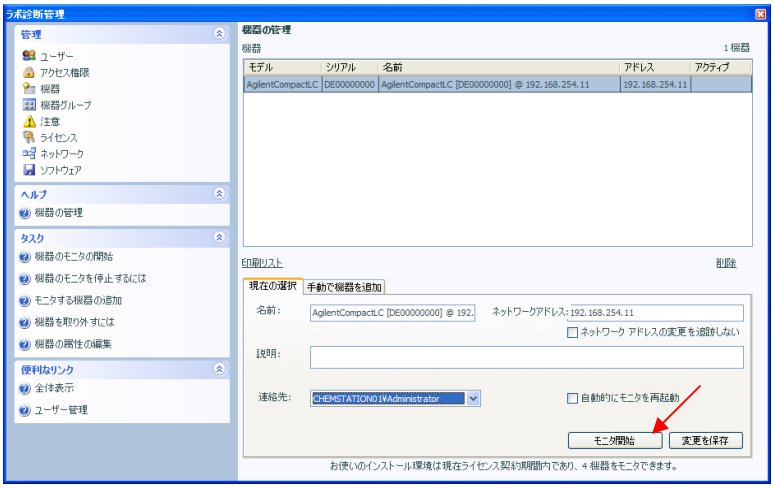
Agilent 1120 Compact LC を選択します。



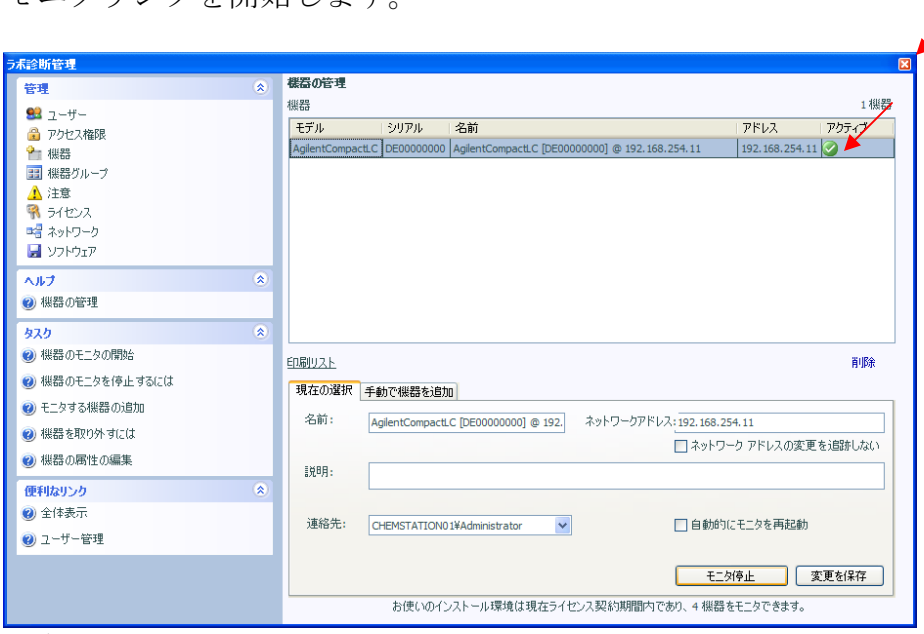
IP アドレス 192.168.254.11 (デフォルト) を入力します。



[現在の機器] タブに切り替えます。

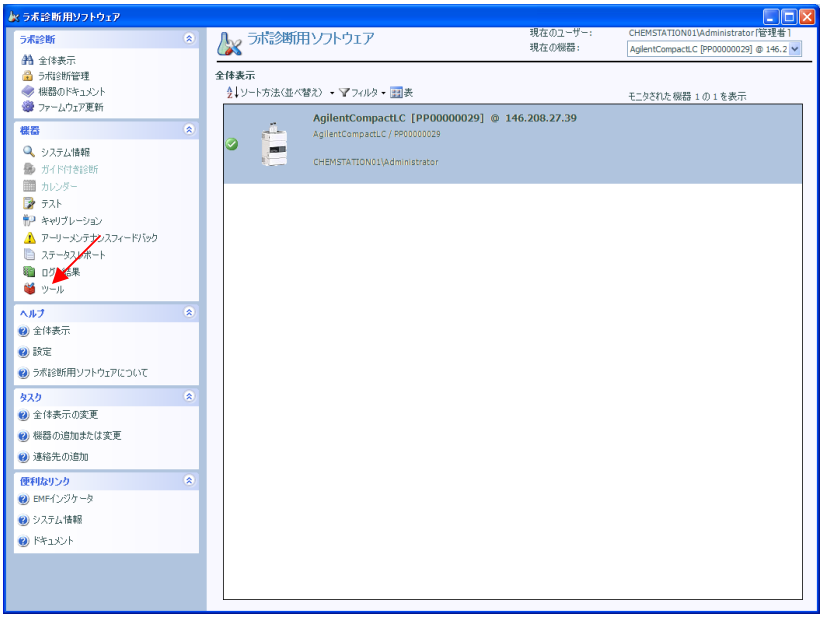


モニタリングを開始します。

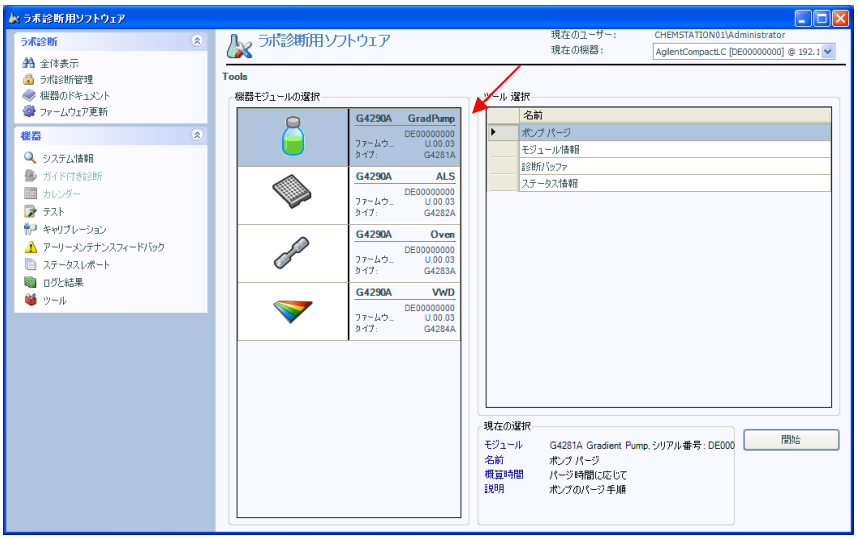


緑色の記号が表示されれば、ウィンドウを閉じます。

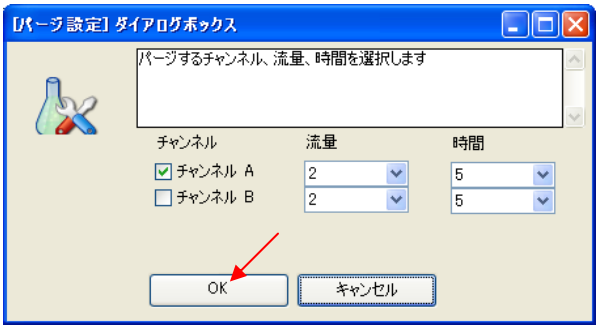
ステップ 5.) システムのプライミングと LMD ソフトウェアを用いたインストールチェックの開始

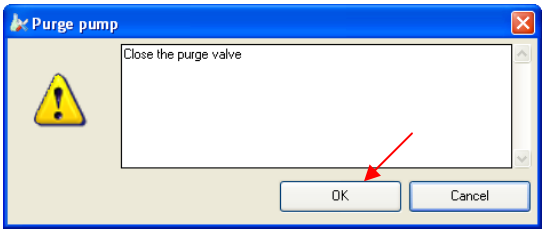


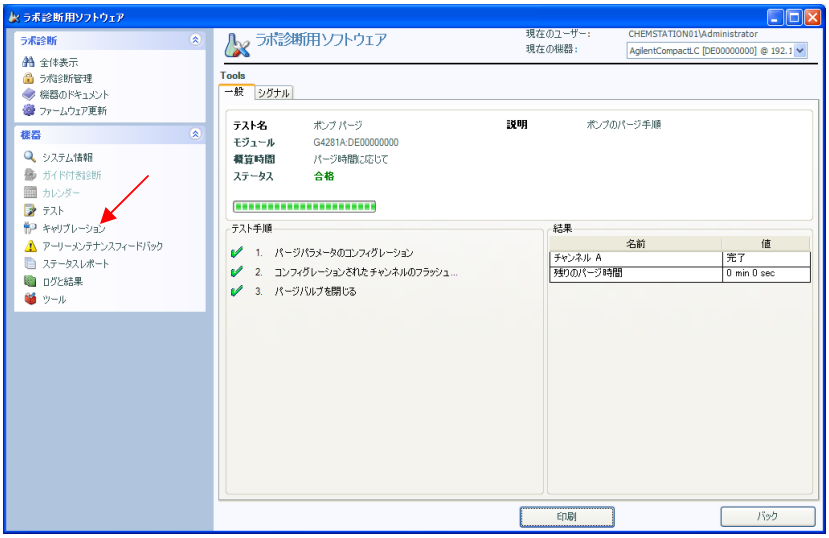
[ツール] をクリックします。



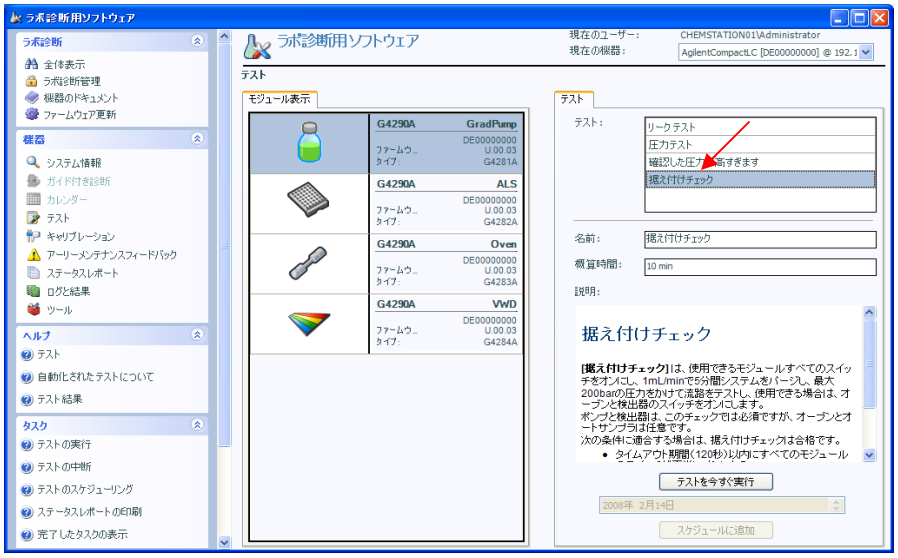
[システムのパージ] を選択して、パージバルブが閉じているかを確認します。流量 2 mL/min で 5 分間パージして、気泡をシステム外に取り除くことをお勧めします。


[パージ設定] ダイアログボックス
パージするチャンネル、流量、時間を選択します
チャンネル
流量
時間
チャンネル A
チャンネル B
2
2
5
5
OK
キャンセル

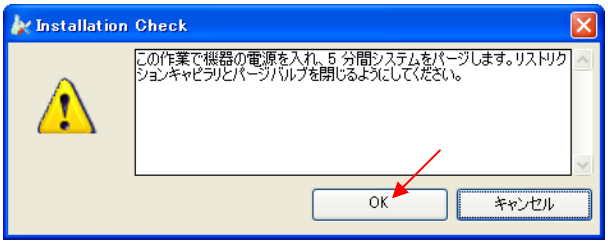

Purge pump
Close the purge valve
OK
Cancel

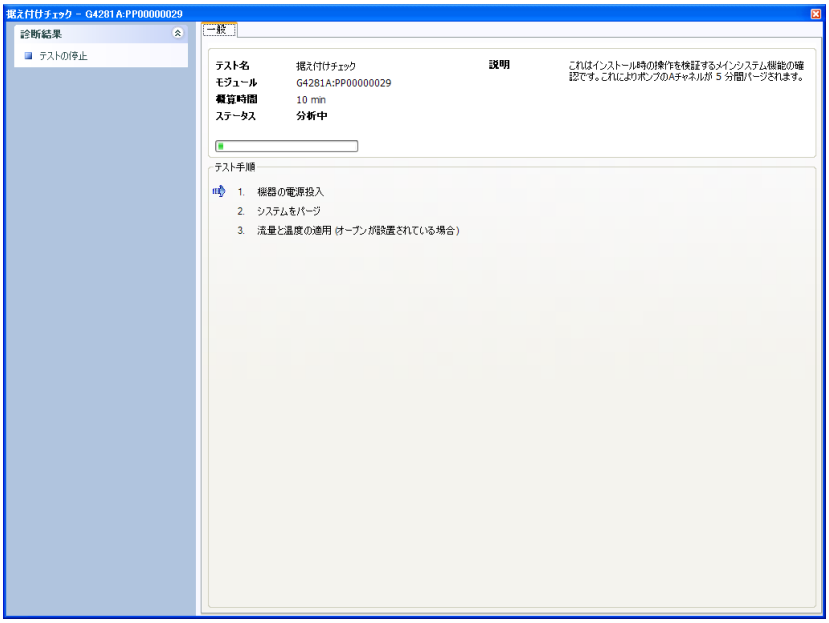

ラボ診断用ソフトウェア
ラボ診断
全体表示
ラボ診断管理
機器のドキュメント
ファームウェア更新
機器
システム情報
ガイド付き診断
カレンダー
テスト
キャリブレーション
アーリーメンテナンスフィードバック
ステータスレポート
ログと結果
ツール
ラボ診断用ソフトウェア
現在のユーザー:
CHEMSTATION01\Administrator
現在の機器:
AgilentCompactLC [DE00000000] @ 192.1
Tools
一般
シグナル
テスト名
ポンプパージ
説明
ポンプのパージ手順
モジュール
G4281A:DE00000000
概算時間
パージ時間に応じて
ステータス
合格
テスト手順
1. パージパラメータのコンフィグレーション
2. コンフィグレーションされたチャンネルのフラッシュ...
3. パージバルブを閉じる
結果
名前
値
チャンネル A
完了
残りのパージ時間
0 min 0 sec
印刷
バック

[テスト] に切り替えます。

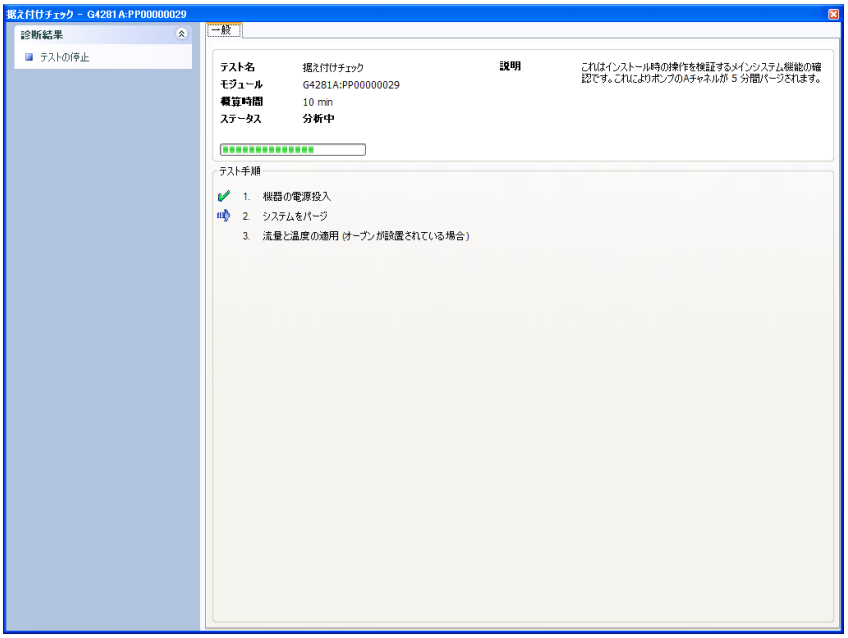


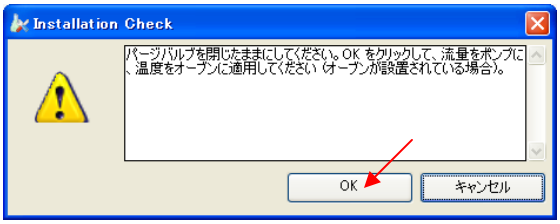
[インストールチェック] を選択した後、[今すぐテストを実行] を選択します。

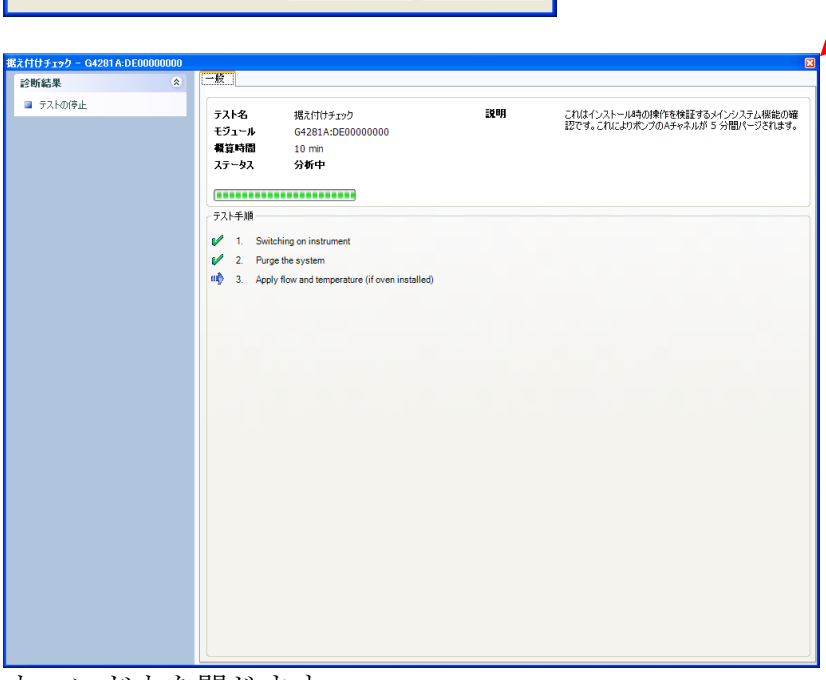




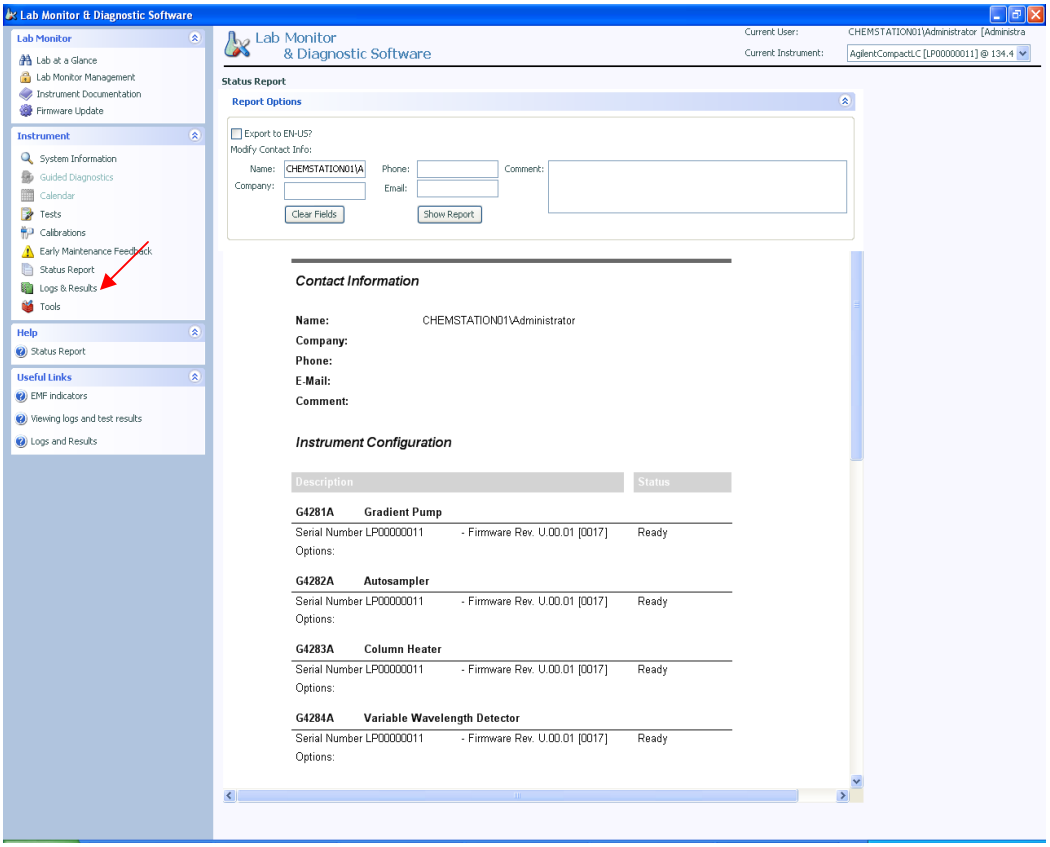
テストは自動的に進みます。


据え付けチェック - G4281A:PP00000029
診断結果
テストの停止
一般
テスト名 据え付けチェック
モジュール G4281A:PP00000029
概算時間 10 min
ステータス 分析中
説明
これはインストール時の操作を検証するメインシステム機能の確認です。これによりポンプのAチャネルが 5 分間パージされます。
テスト手順
1. 機器の電源投入
2. システムをパージ
3. 流量と温度の適用 (オーブンが設置されている場合)


Installation Check
パージバルブを開いたままにしてください。OK をクリックして、流量をポンプに、温度をオーブンに適用してください (オーブンが設置されている場合)。
OK
キャンセル


据え付けチェック - G4281A:DE00000000
診断結果
テストの停止
一般
テスト名 据え付けチェック
モジュール G4281A:DE00000000
概算時間 10 min
ステータス 分析中
説明
これはインストール時の操作を検証するメインシステム機能の確認です。これによりポンプのAチャネルが 5 分間パージされます。
テスト手順
1. Switching on instrument
2. Purge the system
3. Apply flow and temperature (if oven installed)

ウィンドウを閉じます。



[ステータスレポート] をクリックして、印刷可能なレポートを作成します。
[ステータスレポート] を印刷します。

ステップ 6.) コントロールソフトウェアファミリアリゼーショントピック

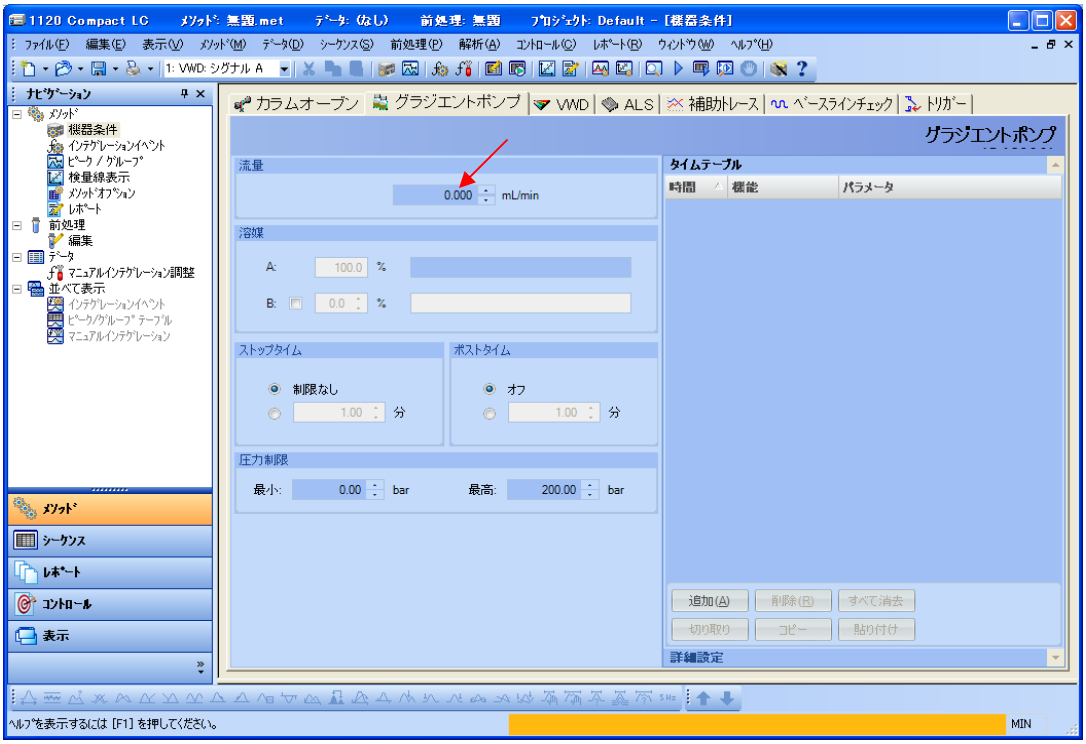
EZChrom Compact CD-ROM の Manual フォルダに収録されている「EZChromEliteCompactStartup.pdf」を開き、学習指示に従います。

ステップ 7.) チェックアウトサンプルを分析している間のシステムの確認

1. チェックアウトメソッド「Checkout.met」を読み込みます。

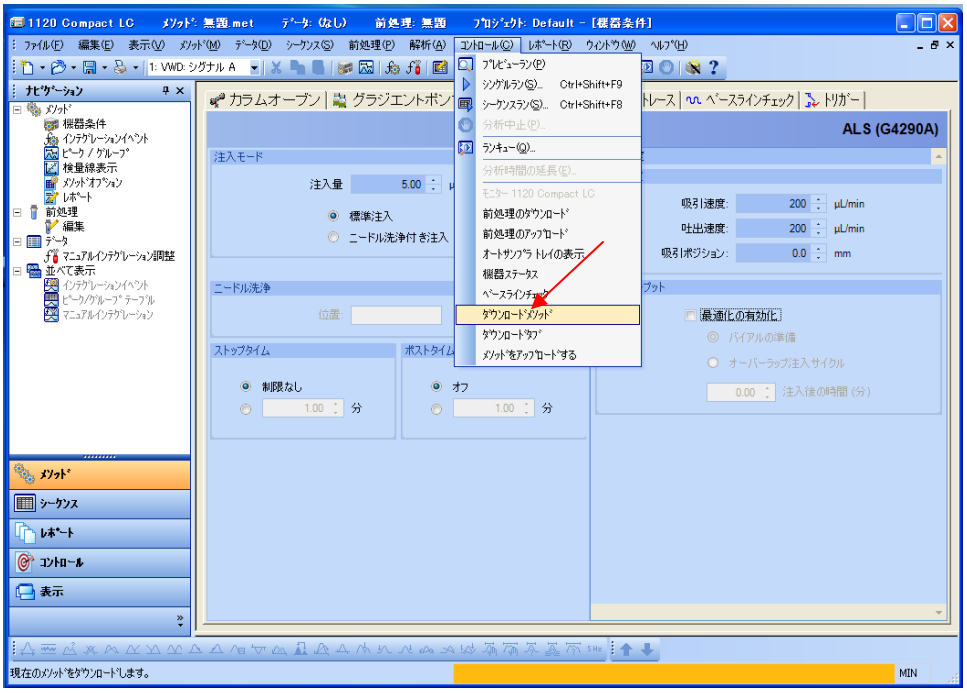
または

EZChrom ソフトウェアに切り替え、メソッドパラメータを入力します。



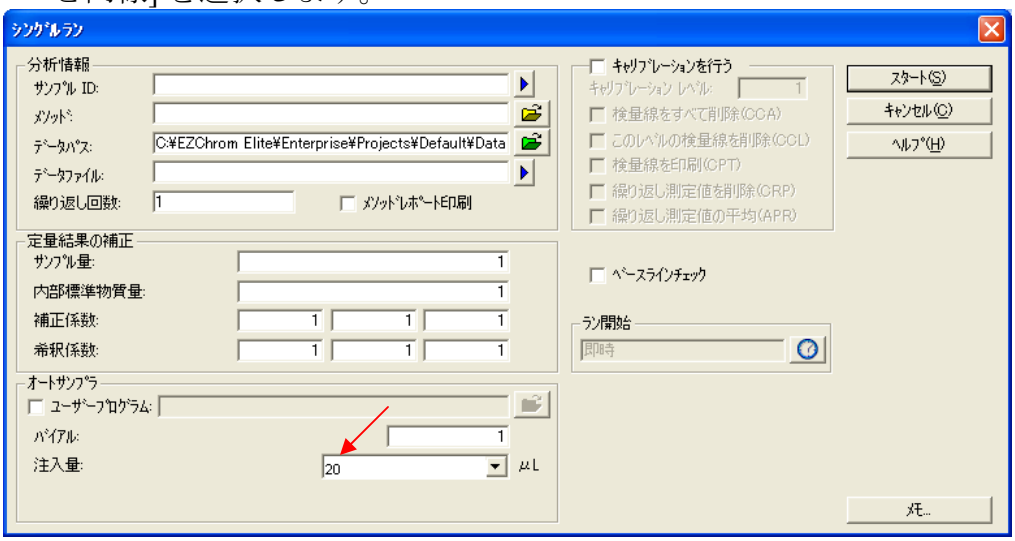
メソッドパラメータ:

流量:	1 mL/min
注入量:	20 µL
オーブン温度:	未制御
VWD 波長:	273 nm
分析時間:	1 分



機器にメソッドをダウンロードします。

2. a. オートサンプラを用いたコンフィグレーションの場合:チェックアウト溶液を 1.5 mL 入れたバイアルを、オートサンプラトレイのバイアル位置 1 に置きます。
2. b. マニュアルインジェクションバルブを用いたコンフィグレーションの場合:シリンジを用いて、チェックアウト溶液 20 µL をバルブに注入します。
3. シングルランを開始し、[注入量] にバイアル 1 の中から [メソッドと同様] を選択します。



4. [メニューバー] → [メソッドレポート] → [レポートの印刷] で [レポート] をクリックします。
5. バインダーに 2 つの印刷済みレポートを保存します。これで、Agilent 1120 Compact LC システムのインストールは完了しました。

G4280-96001

Part Number: G4280-96001

Edition 02 / 2008
Printed in Germany

© Agilent Technologies, Inc. 2008

Agilent Technologies
Hewlett-Packard-Strasse 8
76337 Waldbronn, Germany